

本市における学校給食の実施形態

佐世保市の市域面積は、平成16年度では約248 km²でしたが、6町との市町合併（吉井町、世知原町、宇久町、小佐々町、江迎町、鹿町町）を経て、平成25年度末では約472 km²となり、ほぼ倍の面積となりました。

学校数においても、平成16年度では小学校39校（分校3校含む）、中学校22校、計61校だったものに対し、現在は、小学校49校（分校2校含む）、中学校27校、計76校となり、約1.2倍の数となりました。

このような状況の中、佐世保市立小中学校では、以下のような形態で学校給食を実施しています。

（以下、人数等はH26.5.1現在を表示）

◎ 実施の対象

佐世保市立小中学校 76校 及び 公立幼稚園 7園

児童(小)~13,809人 生徒(中)~6,939人

園児(幼)~166人 計 20,914人

※ その他、学校・幼稚園に勤務する教職員等にも提供しているが、その数は表示していない。

◎ 実施方式について

3つの方式で調理を実施し、各学校に提供しています。

① 自校方式

本市において、最も多い形です。

学校内に調理施設があり、原則として調理施設がある学校だけに給食を提供するものです。ただし、小中学校併設の場合や小学校と幼稚園が併設されている場合もこの方式としてカウントしています。

《参考》

調理場数 32カ所（学校数34校～小中併設2校、併設幼稚園3園）

児童生徒園児数 11,267人（全体の53.9%）

② センター方式

共同調理場（給食センター）で調理し、各学校に配送する形です。

主に合併前の旧町で行われていた形態ですが、平成25年9月に新たに1施設稼働しました。

《参考》

調理場数 5カ所（学校数29校、幼稚園2園）

児童生徒園児数 7,676人（全体の36.7%）

③ 親子方式

調理場がある学校を親とし、各学校に配送する方式です。

《参考》

調理場数 6カ所（学校数13校、幼稚園2園）

児童生徒園児数 1,971人（全体の9.4%）

※ 学校内38施設（①と③の計）、センター5施設 計43施設所有

◎ 調理場の運営形態について

調理場の運営形態は、2つの方式で調理となります。

① 直営方式

佐世保市が直接雇用する職員により調理を行っています。

《参考》

施設数 40施設（学校内38施設、センター2施設）

児童生徒園児数 14,132人（全体の67.6%）

② 委託方式

民間事業者に調理業務等を委託しています。

《参考》

施設数 3施設（学校内0施設、センター3施設）

児童生徒園児数 6,782人（全体の32.4%）

◎ 給食費について

原則として、統一の給食費となります。

江迎地域、鹿町地域では食材の調達方法が異なるため、統一する考え方ではありませんが、現時点では、同額の設定となっています。

小学校 月額 3,700円

中学校 月額 4,300円

幼稚園 月額 2,800円～3,400円

◎ 給食の献立について

以下の3パターン（6通り）のブロックに分けた献立となります。

① 主に旧佐世保市内の3ブロック（小学校A、小学校B、小学校C）

② 食材調達方法が異なる鹿町江迎ブロック

③ H25.9月に運用開始した佐世保市学校給食センターからの配送対象校を2ブロックに分ける（中学校A、中学校B）

◎ 食材の調達について

原則として、主食（ご飯、パン）は長崎県学校給食会から、副食（おかず）は佐世保市学校給食会から調達しています。（鹿町江迎地域除く。中ABは主食も市給食会）